



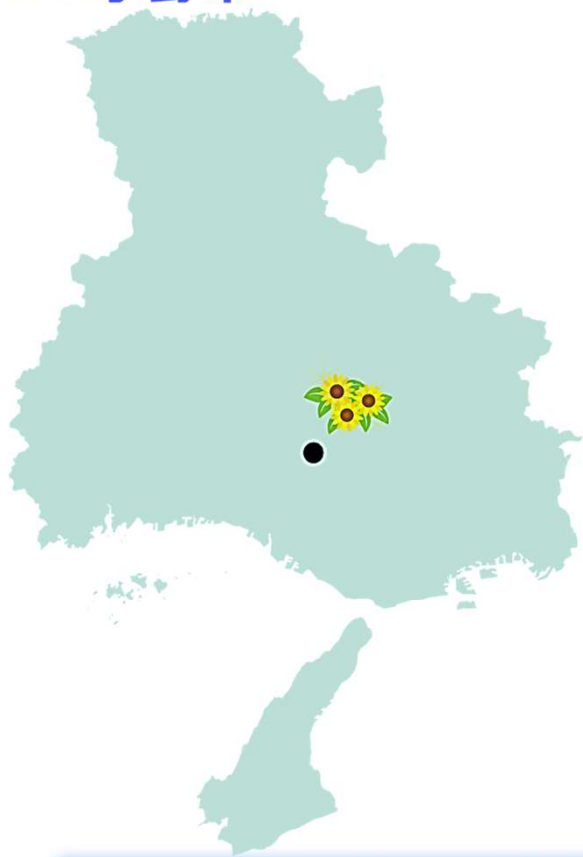
ハートフルシティ おの
兵庫県 **小野市**

～令和3年度兵庫県保険者協議会講演会・事例発表会～

小野市国民健康保険における 特定健診受診率向上の取組について



ハートフルシティ おの
兵庫県 **小野市**



▶ 小野市の紹介

面積(R2.1.1)	93.70km ²
人口(R3.11.30)	47,860人
高齢者人口(R3.3.31)	13,868人(高齢化率28.9%)
国保被保険者(R3.6.1)	9,585人
1人あたり総医療費(R2)	423,027円
平均寿命	男性82.3、女性88.6
健康寿命	男性79.3、女性82.4



令和2年5月 新庁舎オープン





➤ 本日本お伝えしたい内容

1. 小野市の特定健診の状況
2. これまでの受診率向上の取組
3. 受診率向上のための新たな取組
 - (1) 薬局での受診勧奨
 - (2) 新規加入者への健幸セミナー



➤ 小野市の特定健診の状況

<受診体制>

● 集団健診

町ぐるみ健診としてがん検診と同時実施(5～7月に14回、11月に3回)

● 個別健診

対象医療機関は小野市・加東市医師会で40か所

● みなし健診 (簡易受診)

医療機関受診時の血液検査のデータなどの提供(尿検査が不足する場合は追加実施)

● 人間ドック

検査結果(特定健診の項目を満たす)の提供を条件とし、利用料を助成

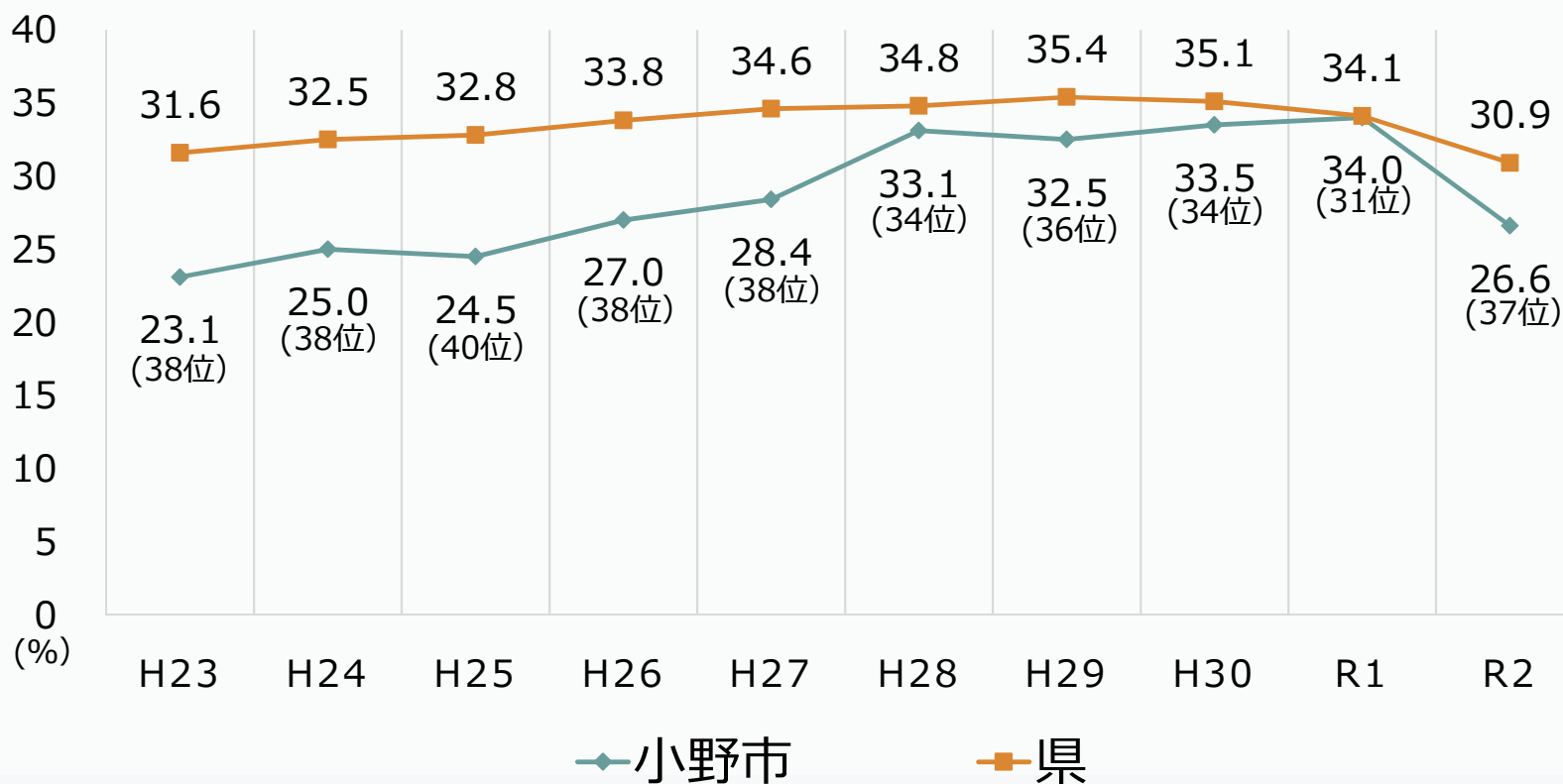
<特定健診の実施形態別実績>

年度	集団健診	個別健診	簡易受診	人間ドック	合計
H30	2,190	171	128	183	2,672
R1	2,114	129	190	186	2,619
R2	1,525	192	74	155	1,946



小野市の特定健診受診率の推移

- 特定健診受診率は、県平均を下回り、41市町中概ね30番台で推移
- 令和元年度まで微増傾向が続いていたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、26.6%と大きく低下





➤ これまでの受診率向上の取組①

- 健診費用の無料化
国保被保険者については、平成28年度から無料にしている。
(H27:28.4%⇒H28:33.1% +4.7%↑)
- 対象者をセグメント化した文書・電話勧奨
昨年受診した未申込者や過去5年以内に受診した未申込者など、
毎年対象者をかえて文書や電話で受診勧奨
- 医療機関訪問
個別健診の受診件数を増やすため、医療機関を訪問し来院者への
簡易健診実施の依頼
- ヤクルトスタッフによる受診勧奨
平成26年度から兵庫ヤクルト(株)と協力し、ヤクルトスタッフが集金
訪問する際に、市が作成した受診勧奨チラシを配布し、対面勧奨
- 健康づくりボランティアによる受診勧奨
毎年養成している健康づくりボランティアへ受診勧奨を行うとともに、
ボランティアから周囲の人へも受診勧奨



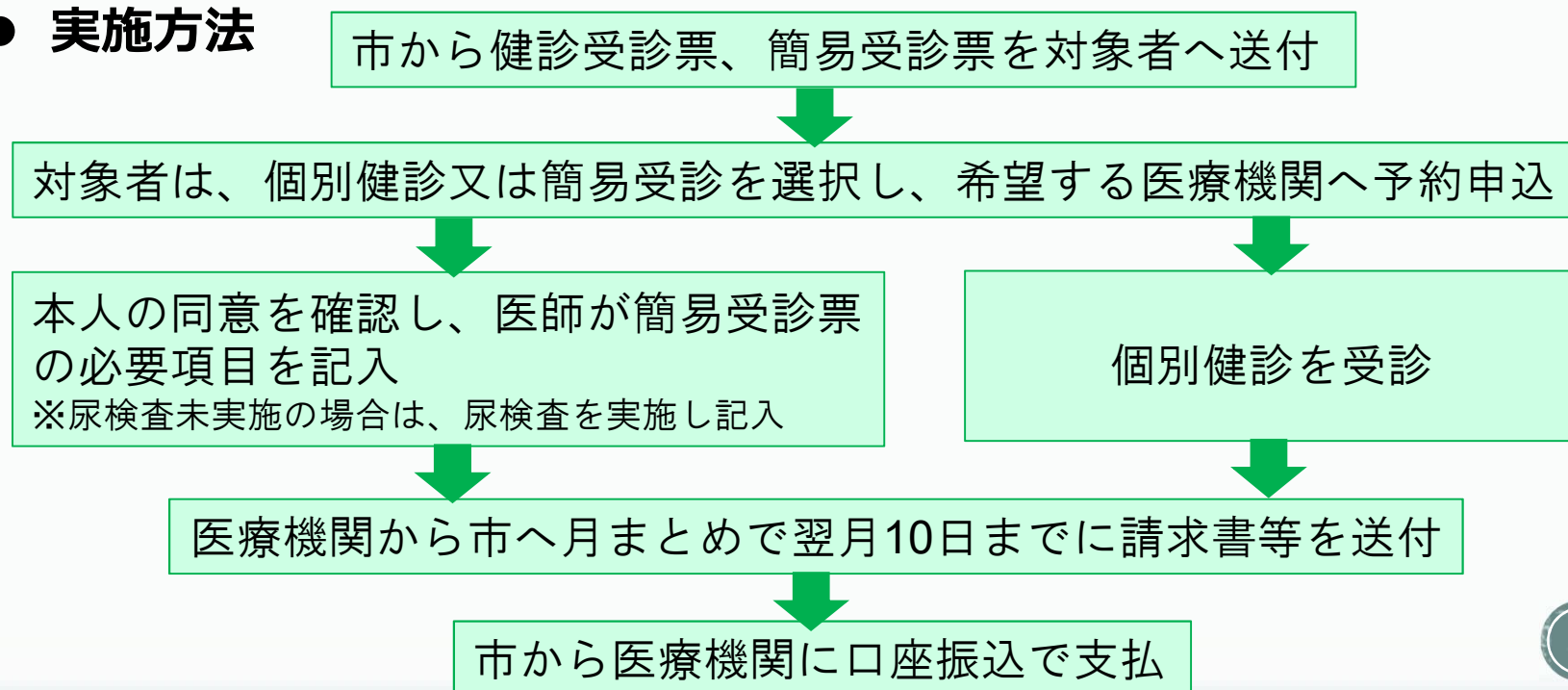
➤ これまでの受診率向上の取組②

<みなし健診（簡易受診）の取組>

● 事業の概要

平成26年度から、小野市・加東市医師会に委託し、定期的に通院されている国保加入者の検査結果等を、本人の同意のもと簡易受診票として提供を受け、特定健康診査の受診とみなしている。

● 実施方法



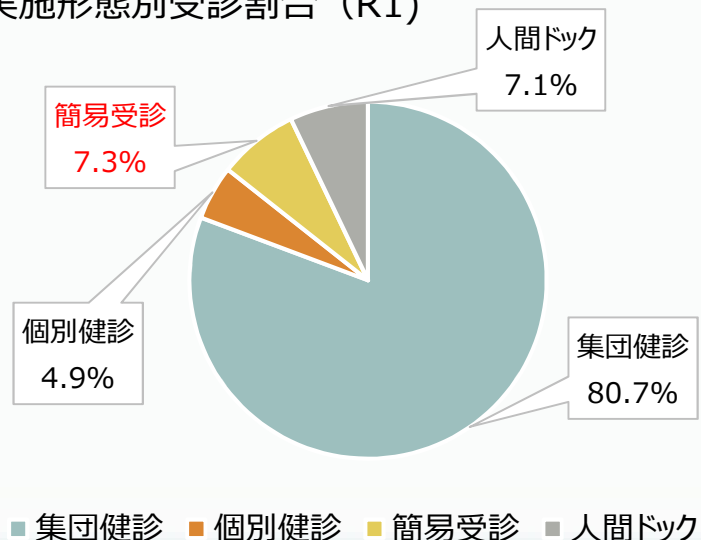


➤ これまでの受診率向上の取組③

〈みなし健診（簡易受診）の状況〉

年度	集団健診	個別健診	簡易受診	人間ドック	合計
H30	2,190 (82.0%)	171 (6.4%)	128 (4.8%)	183 (6.8%)	2,672 (100%)
R1	2,114 (80.7%)	129 (4.9%)	190 (7.3%)	186 (7.1%)	2,619 (100%)
R2	1,525 (78.4%)	192 (9.9%)	74 (3.8%)	155 (8.0%)	1,946 (100%)

健診実施形態別受診割合（R1）



- 令和元年度の実績では、みなし健診は健診受診件数全体の**7.3%**を占め、個別健診よりも多くなっている。
- また、健診受診率に換算すると、**約3%**近くを占めており、受診率の向上に貢献している。



➤ 受診率向上のための新たな取組

これまでも色々取り組んできたけれど、
特定健診の受診率は微増で伸び悩んでいる。



…更なる「てこ入れ」が必要！



令和2年度～
兵庫県の「アドバイザー派遣事業」に参加
⇒ 専門家の助言を得て、新しい取組を企画





▶ 受診率向上のための新たな取組 (1) 薬局での受診勧奨事業①

＜薬局での受診勧奨することとした理由＞

- 65歳以上の高齢者のうち定期的に医療機関に通っている人は5割程度存在する。70歳以上では7割を占める。これらの人が健診を受診するには医療関係者の協力が不可欠。
- かかりつけ薬局の機能を発揮して健診受診に結びつけられれば、患者の重症化を予防し高額医療の予防に結びつけることができる。
- 窓口で患者の保険種類を確認でき、対面で受診勧奨が可能なので、受診につながる可能性がある。



➤ 受診率向上のための新たな取組 (1) 薬局での受診勧奨事業②

＜薬局での受診勧奨の強み＞

- 医療保険の種類を確認できる。
- 健診受診しやすい医療機関の情報を持っている。
- かかりつけ薬局のため、対象者と薬剤師との人間関係ができており、呼びかけができる。
- かかりつけ薬局の役割の一つとして位置付けることができる。



➤ 受診率向上のための新たな取組 (1) 薬局での受診勧奨事業③

<事業実施にかかる経過状況>

R2.11.26	薬剤師会長宅を訪問し、薬局での受診勧奨事業への協力を依頼。役員会で協議していただけることとなる。
R3.1.29	薬剤師会長に電話し、協力いただける旨の回答を得る。
R3.2.4	薬剤師会長と今後のスケジュールや勧奨方法について相談。 市内調剤薬局の薬剤師に対する説明会を5月連休明けに開催することを決定。 ⇒緊急事態宣言により、開催を2回延期
R3.8.5	説明会開催（市内23調剤薬局のうち12調剤薬局が出席）
R3.8.6	説明会を欠席した11調剤薬局に説明会資料を郵送
R3.8.16	受診勧奨開始（R3.9.13まで）
R3.9.14	町ぐるみ健診（集団健診）開始
R3.9.30	チラシ配布数（受診勧奨者数）報告期限
R3.10.6	薬剤師会長に受診勧奨者数結果等を報告



➤ 受診率向上のための新たな取組 (1) 薬局での受診勧奨事業④

＜受診勧奨の流れ＞

①対象者の確認をする

- ・保険証確認時に、小野市国保の被保険者か確認
- ・年齢が40～74歳であることを確認

②健診申込状況の確認をする

- ・町ぐるみ健診の申込用紙が届いているか確認
- ・申し込みをしたか、または、申し込み予定かを確認

※申し込みをした人や申し込み予定の人には、受診勧奨は不要

③受診勧奨を行う

- ・健診のメリットを伝える
- ・集団健診希望者には、チラシで、実施日・場所等を確認してもらい、直接市に申し込んでもらう
- ・個別健診希望者には、チラシで、受診可能な医療機関を確認してもらい、直接市に申し込んでもらう

④市へ報告（右の受診勧奨報告書を市へ提出）

FAX

小野市役所市民課
国民健康保険係 行き
FAX. 0794-63-7674

令和 年 月 日

調剤薬局名 _____

受診勧奨報告書

下記のとおり、報告します。

記

受診勧奨者数 _____ 人

(※チラシの残枚数ではなく、配布枚数で報告してください。)



➤ 受診率向上のための新たな取組 (1) 薬局での受診勧奨事業⑤

<R3受診勧奨の結果>

- 市内の23の薬局の協力を得られた。
- そのうち20の薬局から、843件の受診勧奨の報告があった。



<今後(R4)の取組>

- R3年度は市内の約5割の薬局が協力⇒R4：7割目標
- 受診勧奨と併せて健診申込みまでしていただけた場合に、1件当たり500円程度を薬局に支払うことを検討中。



▶ 受診率向上のための新たな取組 (2) 新規加入者への健幸セミナー①

<新規加入者への健幸セミナーとは>

● 対象者 (R3)

令和3年3月以降に小野市の国民健康保険に加入した60歳代の方

● 内容

加入者の“健幸”づくりの取組を支援するため、「健幸セミナー」を開催
“健幸宣言”を宣言いただいた方に、セミナーで使用する健康グッズをプレゼント
次のコースから1つ選択（定員：各コース5名ずつ、計20名）

- ① 身体スッキリ・体調管理コース
- ② 「食べる」の選択肢・食事改善コース
- ③ 美しい見た目へ・姿勢改善コース
- ④ 痩せやすい身体・脂肪燃焼コース



➤ 受診率向上のための新たな取組 (2) 新規加入者への健幸セミナー②

< “健幸宣言”とは >

「健幸」は、「健康」と「幸せ」を組み合わせた言葉で、身体のみならず、心身の健康だけでなく、それぞれが生きがいを感じ、安心して暮らすことができる、幸せを実感できる状態のこととしている。

参加いただいた皆さんの健幸づくりのお役に立てるセミナーを企画し、実際に体験いただいた後に、右の「健幸宣言書」にある 2つの項目を宣言いただくことで、健康意識の向上を目指す。

健幸宣言書

次の2つの健康づくりの取り組みを継続することを宣言します。

1. 町ぐるみ健診を毎年受診すること
2. 健幸セミナーでの取り組みを続けること

宣言者 令和 年 月 日

氏名 _____



▶ 受診率向上のための新たな取組 (2) 新規加入者への健幸セミナー③

＜健幸セミナー開催に至った背景・目的＞

- 国保加入年齢が60歳以上の方は、過去に被用者保険で健診を受けていた可能性が高い。
⇒受診しやすい傾向がある。
- 今後継続して国保に加入する可能性の高い60歳以上の新規加入者に対し、加入時に丁寧に受診勧奨
⇒確実に受診にむすびつける。
- 「あなたの健康を守るパートナー」として市が支援をすることを伝えるため、セミナーを実施
⇒継続受診につなげていく。



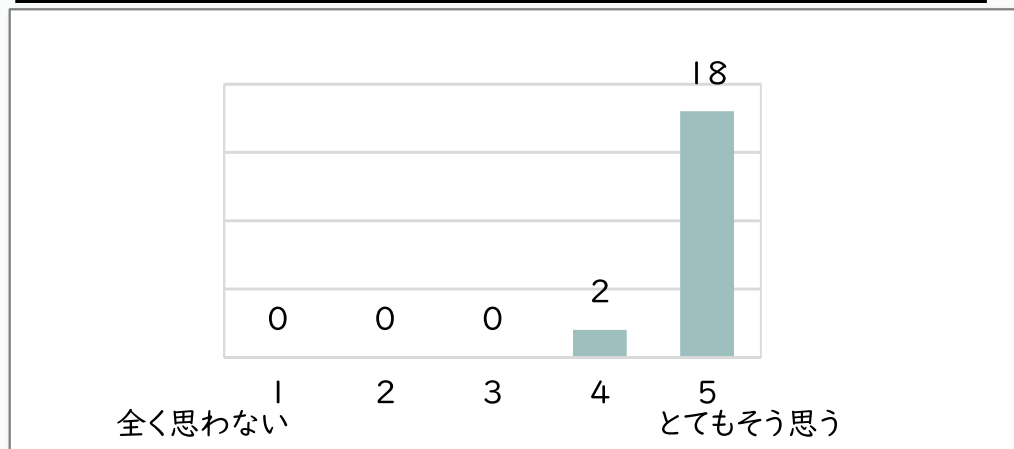
▶ 受診率向上のための新たな取組 (2) 新規加入者への健幸セミナー④

＜参加者へのアンケート結果＞

● セミナーを受けようと思った理由

- ・退職後、体を動かす機会が少なくなっていたところ、案内がよいタイミングで届いたから。
- ・今後、身体の体調管理を続けて、健康を維持したいと考えるため。
- ・プレゼントのグッズが気になったため。
- ・高血圧のため減塩に取り組んでおり、その参考になればと思ったから。等

● セミナーに参加してよかったと思いますか





▶ 受診率向上のための新たな取組 (2) 新規加入者への健幸セミナー⑤

<セミナー開催実績>

コース名	男	女	合計
①身体スッキリ・体調管理コース	2	3	5
②「食べる」の選択肢・食事改善コース	1	5	6
③美しい見た目へ・姿勢改善コース	3	2	5
④痩せやすい身体・脂肪燃烧コース	0	4	4
合計	6	14	20

- 各コースとも、募集開始から1週間程度で定員を超え、一部お断りした方もいた。
- 参加者からも好評で、「また参加したい」「教わったことを家でもやっていきたい」等前向きな意見が多かった。

⇒来年度は、定員を拡充して実施する予定。



ご静聴ありがとうございました。

おの桜づつみ回廊